



11月22日 上士幌町一流プロジェクト事業
「プロ卓球選手による講習会」

11・12月の まちのわだい



12月10日 北門小学校閉校記念演劇鑑賞会
劇団風の子「めっきらもっきらどおんどん」



応援大使
乾 真大 投手



11月26日

日本ハムファイターズ乾投手トークショー

プロ野球・北海道日本ハムファイターズ「2015年 北海道179市町村応援大使」企画で、上士幌町の応援大使を務める乾真大投手がわが町を訪れ、山村開発センターでトークショーを開催しました。

乾投手は質問コーナーで「仲の良い選手は誰ですか」「一番投げやすい球場はどこですか」などの質問に丁寧に答えたほか、小学生時代は野球の練習が嫌いで毎日ピアノの練習をしていたという意外なエピソードを語ってくれました。

また、終盤には乾投手のサイン入りグッズが当たるプレゼント抽選会が行われ、当選者と握手をして会話を交わすなど、町民の方々と交流を深めていました。

11月21日

ピンクリボン講演会 in かみしほろ

11月21日、「ピンクリボン講演会 in かみしほろ」が山村開発センターで開催されました。

本公演は、ふるさと納税の寄付金を財源に今年度町が実施している「女性がん検診普及啓発キャンペーン」の一環として開催されたもので、約210人の町民が参加しました。

はじめに、北斗病院乳腺乳がんセンター長の難波清先生が講演し、「乳がんの罹患・死亡状況の最新データや検診の必要性、「乳がんベットの検診」という新たな検診方法についてのお話をいただきました。

続いて、自らも乳がん手術の経験があるタレントの山田邦子さんが登場し、病気が見つかったときの不安や葛藤を、涙とユーモアを交えながら話されました。

最後は、山田さんが作詞した曲「しあわせの青い鳥」が披露され、参加したみなさんは辛いことを乗り越える勇気を山田さんからいただけたようでした。



12月1日

総務省消防庁「無償貸付車両」引渡式



総務省消防庁より、わが町へ消防車両が無償貸付されることとなり、引渡式が行われました。

消防庁が地域防災の要である消防団の充実強化を目的として実施しているものであり、このたび、上士幌消防団ぬかびら源泉郷第2分団に配備されることになりました。

車両には多種多様な災害を想定した資機材が搭載されており、消火活動や救助活動への支援が期待されています。

12月2・3日

上士幌小学校地域公開参観日



上士幌小学校で地域公開参観日が行われました。12月2日に1〜3年生、3日に4〜6年生が授業を公開し、児童の保護者のほか、地域住民らが授業風景を参観しました。

5年生は体育館で総合学習の授業を行い、「大スキ上士幌 元氣アップ大作戦」と題して、児童たちが考えたオリジナルの観光客増加プラン（元氣アッププラン）を発表しました。



上士幌トランポリンクラブ クリスマスケーキ作り

12月2日、上士幌と士幌のトランポリンクラブの子どもたちがふれあいプラザでクリスマスケーキ作りに挑戦しました。

親子約20人が参加し、子どもたちはお母さんたちの助けを借りながら、生クリームの上にイチゴやみかんを飾り付けたり、チョコレートをまぶしたりするなど、思い思いのケーキを手作りしました。

完成後は全員で試食し、「とってもおいしくできた」とみな大満足の様子でした。

12月4日

那須襄太郎氏叙勲伝達式



平成27年秋の叙勲で旭日双光章を受章した那須襄太郎さんに対する叙勲伝達式が、役場で行われました。

上士幌町議会議員を9期36年務め、長年地方自治に貢献されたことにより、このたび受章されました。

北海道十勝総合振興局の浜名副局長より伝達を受けた那須さんは、「身に余るお話をいただき感謝申し上げます。これも町民のみなさまのご協力のおかげであり、これからも努力してまいります」と話されました。

役場の新人紹介 (地域おこし協力隊員)

～よろしくお祈ります！～



- ①前田 圭一朗(30歳)
- ②スポーツ指導専門員(生涯学習課)
- ③千葉県

スポーツを通して、町民のみなさんが元気に、そして笑顔になれるように、一緒に汗を流していきたいと思っております！よろしくお祈り致します。

①氏名(年齢) ②担当課 ③出身地

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☞ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

町民(文)芸

川柳

羊去り申が恵方を伏し拝む
 新年の朝日に祈る赤い糸
 薪ストーブ暖め退院の母を待ち
 新年のスタート平凡のままでいい
 昨年も今年も目標立てただけ
 願いごと毎年同じの初詣
 新雪に子どもに還る雪だるま
 不意の雪冬靴出すと溝がない
 原発も基地も要らない青い空
 除夜の鐘聞いて仮面が剥がれ落ち

短歌

今日のひは神経痛の右足を庇ひつつ唄ふステージの上に
 豆がらを焼きし匂ひ漂へる十勝の朝雨も上りて
 久びきに子等集いたり十勝晴れの青空なつかしと言ひ居りたり
 吾身のおろかに過ぎて夫の一周忌夢の様子等にたよりて務む
 家族して鮎たべてきし帰りとふ若きと寸分たがはぬ笑みぞ
 月出でておるらし垂氷つらなりて夜明けの軒にかがやきるたる

白桜森 杢米小 鈴小米 坂
 石 大森池 木松森 田
 花ト喜博由 義真 いさ
 馨絵シ代希子 豊美 弓子

本 高 石
 間 木 川
 栗 慶 裕
 風 子 子

編集後記
 ◎日本ハムファイターズ乾投手のトークショー取材しました(22頁参照)。今季、クライマックスシリーズで惜しくも敗退したファイターズ。乾投手も非常に悔しかったと語り、来季はチームだけでなく自身もより一層飛躍したいと意気込んでいました。◎乾投手らの活躍とパ・リーグ優勝、そして日本一を期待しています。・・・S
 ◎新年を迎え、これから広報誌もどんど新しいものを取り入れていきたいと思っています。「こんな面白いことがあるよ!」「こんなことを掲載してほしい!」などありましたら、役場情報交流担当(☎2-4290)までお知らせください! 広報誌は町民みなさんのものですもの。まちの楽しい話題や出来事、お待ちしています・・・K

広報 **かみしほろ** 2月号は 1月25日(月) 発行予定

平成27年	11月末現在の人口
男性	2,371人(±0人)
女性	2,517人(-3人)
人口	4,888人(-3人) (外国人51人含む)
世帯数	2,397世帯(+10世帯)

寄付

▶12月7日、上士幌ロータリークラブが創立50周年事業の一環として、認定こども園ほろんに、紅白幕を寄贈されました。
 ▶12月7日、高木慶子さんが、町の振興のため(故・高木菊義さんがお世話になったお礼として)、10万円を寄付されました。

平成27年度 ふるさと納税寄付金

11月分 7,898件
 158,180,448円

累計 43,489件
 862,977,382円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

地域を変えてく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: みなさんの力を活かした地域づくり 記:地域支え合い推進員 小笠原 朋代



2015年も残りわずかとなりましたね。みなさんはどのような1年でしたか？

さて、10月13日から始まった全5回シリーズの「介護支援サポーター養成講座」が11月19日、終了しました。講座では、元気な高齢者が地域の支え手となることを学び、老健かみしほろのリハビリスタッフによる「健康と運動」、帯広大谷短期大学の講師による「楽しいレクリエーション技法」についてお話いただき、第5回ではみなさんで“自分たちでどのような活動ができるか”について意見交換を行いました。

今後も隣近所の“ちょっとしたお手伝い”を行っていききたいという方、自らの特技を活かしたワークショップの開催、そして何よりもみなさんと顔なじみになり、つながりを持てたことが良かったという声やこれからは定期的に学習が続くようにしてほしいといったご意見もいただきました。

何かを“きっかけ”につながり生まれ、“何か活動を行っていききたい”といったみなさんの思いが実現できるよう、私自身もお役に立てればと考えています。今後も地域をたくさん知り、みなさんの活動に参加させていただきたいと思います。2016年もどうぞ宜しくお願いいたします。



▲健康と運動について楽しく教えていただきました♪



▲第5回グループワークの様子

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲平和記念公園で黙とうをささげる2年生

11月5日(木)から9日(月)まで、2学年で見学旅行に行ってきました。
 今年は京都・大阪・奈良・広島を訪れ、日本独特の建物や町並み、都会の中心など初めて見るものが多く、良い刺激と経験になりました。
 その中でも広島の平和学習について、見学旅行実行委員長の池田末弥乃(2B)さんは「平和セレモニーは悲惨な戦争を繰り返さないためと平和に対するありがたさを再確認するために行った。事前学習はみな真剣に取り組んでいた。準備や練習では、全体に指示を出したがなかなか聞いてもらえず大変だった。平和記念公園や資料館などを見学して、70年前に多大な被害を受けながらもここまで復興させた日本の技術に感動した。当たり前前が当たり前前ができるということに感謝の気持ちを持って周りへと接していきたい。来年行く1年生には自分たちの特色を活かしていっぱい楽しんで来てほしい」と1年生にエールを送りました。

11月5日(木)～9日(月)
 2年生見学旅行

文責 木村 凌也